

ゆらあい

NO. 257

2018.4.10

LIONS CLUB INTERNATIONAL
DISTRICT 335-B
OFFICIAL PUBLICATION

ライオンズクラブ国際協会
335-B 地区広報誌

第56回東洋東南アジア・フォーラム

【特集1】LCIFを知ろう!!

【特集2】私のクラブ

【特集3】クラブ支部紹介

- ◆吹田江坂LC
- ◆島本LC
- ◆いずみそれいゆLC
- ◆岸和田コスモスLC

啓光学園

薬物乱用防止パレード

「ダメ。ゼッタイ。」

「NOドラッグ」



ライオンズクラブ国際協会335-B地区

大阪・和歌山



第56回東洋東南アジア・フォーラム in 台南・高雄

地区マーケティング・コミュニケーション委員 杉本 光傑



2017年11月17日～20日、台湾南部の台南・高雄にて、第56回東洋東南アジア・フォーラムが開催されました。今年のフォーラム・テーマは「I LOVE LIONS」で、本部ホテルは台南に置かれ、そこでは各種の会議やセミナーが予定されていました。柿原地区ガバナーは、17日に台南に到着され、18日には朝から台南で国際会長、協議会議長との会議に出席され、午後からは高雄での開会式出席と、忙しいスケジュールをこなしておられました。

18日の開会式は、台南から約1時間に位置する高雄の『高雄アリーナ』で行なわれました。11月でも30度を超す気温の中、厳重な入場チェックのため、アリーナ周辺は大変な人混みと熱気でした。会場内では、やはり地元台湾の活気が溢れており、それに日本、韓国と続く感じでした。地区ガバナーや国際理事の入場の後、アガワル国際会長が登場し、それにアジアらしいパフォーマンスが花を添えました。

開会式の後には、高雄の漢来大飯店で地区ガバナー晩餐会が開かれました。普段はあまり顔の合わせられない他クラブのメンバーと円卓を囲み、台湾料理を堪能しました。地区ガバナー輩出の高槻LCから18名もの参加者があり、様々な準備をして頂きました。高槻LCの結束の固さに感銘を受けました。

19日以降も、台南で会議・セミナーが続きました。親日的な雰囲気の中、心地よく過ごせた台湾でした。

2018年度は中国・海南島ですが、2019年度には日本・広島での開催が決定しております。多数のご参加を心待ちにしております。



開会式パフォーマンス



地区ガバナー晩餐会

女性開発セミナー

11月19日は朝から各種セミナーやフォーラム、レセプションが目白押しでした。どの会合も会場は台南大億ランディスホテルに於いて執り行なわれ、同時通訳機を駆使されており、熱気にあふれた質疑応答がありました。とりわけ、国際会長テーマセミナーの直後に始まった『女性開発セミナー』では、グドラン・ビョート・イングバドター国際第1副会長を迎えて、次期国際会長になられるにあたり、「前向きな思考」を持ち、「創造的に、革新的に、開かれた心を持って行動する」事の重要性を説かれ、女性会員増強・リーダー

FWT地区コーディネーター 西木 宣雄

シップ開発に向けての戦略としては「リーダー開拓と役職数向上」「より良く分析しアクションプランを立てること」「女性シンポジウムの実施」など具体的な行動指針を示されました。

今後、クラブ内・地区内、そして複合地区レベルでも情報を共有しながら、「We Serveを次世代へ!!」と繋げていく事が、私達のミッションではないでしょうか。

改めて、皆様と共にライオンズの未来に向けて歩んで参りたいと思います。

ナレシュ・アガワル国際会長公式訪問

第1副地区ガバナー 吉村 弘吉



2017年12月10日、東京都千代田区神田にある学士会館に於いて330～337複合地区合同ナレシュ・アガワル国際会長公式訪問が開催されました。日本各地より約300名のメンバーが出席し、国際会長の日本訪問を歓迎しました。

ナレシュ・アガワル国際会長の講演では「今期の方針であるWe Serveの精神で3つのシンプルな数字を実現して下さい」と強く訴えられました。「1つは150万。1981年に村上元国際会長が掲げた『会員150万人を世界で達成しよう』という目標数は、36年経った今でも達成されていません。101年目を迎えた今期こそ、その壁を打ち破って下さい。」「2つ目は1億5千万。日本からのMyLCI報告では奉仕の数が1人につき3.3人となっています。国際協会の平均数字は1人につき6.7人。1億5千万人の奉仕を達成するには、1人が毎月9人に奉仕しなければいけません。」「3つ目は5千万ドルを我々の国際財団のために集めることです。日本は今日現在最大のLCIF貢献国です。それを誇りに思って、これからも努力してほしい。皆さんにはそれができます。」

講演後は、アガワル国際会長より感謝状の贈呈式があり、また全日本を代表して中村国際理事よりLCIFへの寄贈が行なわれ、公式訪問は無事に終了しました。

その後、アガワル国際会長の強い希望により、全日本35準地区の地区ガバナー、第1副・第2副地区ガバナー、GMT、GLT、FWTを含むエリアリーダーを集めてミーティングが開催され、会員増強の各地区今期目標について話し合いが行なわれました。

柿原地区ガバナーは国際会長に335-B地区の会員増強目標数を改めて誓い、他の各地区ガバナーも決意を新たに、ライオンズの結束を固めました。

グドラン・ビョート・ イングバドター 国際第1副会長公式訪問

地区マーケティング・コミュニケーション委員長 児玉 和久

2017年11月27日、帝国ホテル東京にて、グドラン・ビョート・イングバドター国際第1副会長公式訪問が開催されました。330～337複合地区より総400名のメンバーが出席しました。グドラン国際第1副会長が夫であるヨン・ソルスティンソン元国際理事とともに拍手の中、入場しました。

グドラン国際第1副会長の講演は、プロジェクターを使用して「日本といえば…Quality(クオリティ)を持っています。それは、ライオンズ、自然、文化、食、デザイン、製品、人、etc.です。また、私のモットーは“We Serve”です。そして、私のテーマは『前向きな思考』『創造的に革新的に開かれた心』『何か新しいことをする』ということ、それはすなわち『奉仕のインパクトを高める』『会員価値を向上し、認知度を高める』ということです。」と熱く語られました。

午後からは330～337の8複合地区ガバナー協議会議長及び



各準地区の地区ガバナーとの会議を行ない、330～337の複合地区ごとに各準地区やクラブのアクティビティの現状についてプレゼンテーション形式にて報告されました。青少年育成、環境、献血、糖尿病、食料支援、災害支援など各地区様々な活動が紹介され、グドラン国際第1副会長とヨン元国際理事夫妻は各複合地区のプレゼンテーションが終わるごとに感想を述べ、また質問を投げかけてそれぞれの理解を深めました。

第3回キャビネット会議

地区マーケティング・コミュニケーション委員長 児玉 和久

2月26日、ホテル日航大阪に於いて第3回キャビネット会議が開催されました。柿原地区ガバナーの挨拶では、2月9日から2月25日まで開催された平昌オリンピックが話題に上がり、選手のチームワークに感動させられたこと、ライオンズクラブも良いチームワークで発展していきたい旨をお話しされました。

議事では第64回地区年次大会について代議員会組織確認や提出議案、また次期地区ガバナー、第1・2副地区ガバナー候補者の確認があり、L吉村、L田中、L中谷より自己紹介の挨拶がありました。

今回は、各リジョン・チェアパーソンの報告の前に各ゾーン・チェアパーソンから所属ゾーンの会員動向やアクティビティについて発表がありました。それぞれ地域に応じたアクティビティをされていて、また各自の方法でゾーンが活性化しよう頑張っているとご報告がありました。

各種委員会の報告では西尾GMT委員長からは各クラブへ「ASK 1」のお願い、また桑内年次大会委員長から4月15日に開催される第64回地区年次大会の登録者数をもっと増やして頂きたいとお願いがありました。

長時間の会議でしたが、スムーズに進み閉会しました。



薬物乱用防止教育認定講師養成講座

地区マーケティング・コミュニケーション委員 伊集院 峰子

2月14日、薬物乱用防止教育認定講師養成講座がホテル日航大阪にて開催され、135名のメンバーが受講しました。

まず、ビデオ講座から始まり『身近にひそむ薬物乱用』という分かりやすいビデオを鑑賞しました。次に医学博士であるL万本盛三(土浦環LC)のDVD講座で『薬物乱用と身体への影響』を学びました。続いて大阪府警察本部刑事部薬物対策課、大阪府健康医療部薬務課の方々をお迎えし、薬物の恐ろしさや体への影響、依存の恐怖と貴重な話をされました。

次に、2つのクラブによる実践講座がありました。1つ目の島本LCの実践講座では「夢を見ることの素晴らしさ!夢は何度でも見て幸せをつかむことができるが、薬物は取り返しがつかない、夢を見ることも出来ない。薬物の恐ろしさを子どもの頃にしっかりと理解し後世に伝える人になって欲しい!」と訴えられました。2つ目の茨木ハーモニーLCは、子ども達にとっても解りやすい、また「自分達にも出来そうだ!」「やってみたい」という寸劇を披露されました。

受講者の皆様が体を前に傾け、真剣に「ダメ。ゼッタイ。を広げなければ」という気持ちを新たにされ、メンバー皆様が一致団結された養成講座でした。



自然環境保全と災害支援を考える会

アルピニスト野口 健さんに学ぶ…環境保全は人の環と和

地区環境保全・アクティビティ委員長 松本 杜史子

1月22日、太閤園に於いて、自然環境保全と災害支援を考える会が開催されました。アルピニストの野口 健さんのお話の中にはライオンズクラブに活かせる内容がたくさんありました。

野口さんはエベレスト登山の際、木の枝に吊るされた、鮮やかな防寒着の中の亡骸を一瞥しながら山頂を目指し、頂上で死に直面し滑落していった友と別れたそうです。

「世界の有名な高山に登る中、その雪と氷の中にあつたゴミは日本語だらけで、日本が誇る富士山にもゴミがいっぱいでした。好きで始めたわけではないゴミ集めも、初めは日本人としての羞恥心と優しさから。南の島で日本を臨み、手を合わせて自決した戦没者の遺骨収集も、死を余儀なくされた命への贖罪と慈しみの心からでした。」
「ほんのわずかな仲間たちで出発したボランティア活動は、1人ずつ説得し必要性を訴え続け、更に地域や行政を動かすことはかなりの労力が必要でした。」

「一人の力では出来ない環境問題、それは自然と対峙する以上に人の環と和の問題です」と野口さんは協調しました。野口さんのお話を聞き、ボランティア活動の先には友情があり「power of we!の力」があることを実感しました。そこにはライオンズクラブのアクティビティの原点がありました。

「長期間の山の生活の経験から、大災害の後、壊れた家屋内や車中での寝泊まりは、二次災害を招く危険な行為であるため、足を伸ばして横になれる大テント村を熊本県益城町に設置し、被災者に寄り添ういたりメンタルケアも忘れませんでした。」

野口さんには、少年時代のいじめから始まった孤独と悲しみからの脱却と、死と隣り合わせで生きた経験から生まれた優しさと慈しみの心がありました。強い生への力を感じました。野口健さんの挑戦はまだ続きます。



335-Bアラートチーム決起大会

地区マーケティング・コミュニケーション委員 吉永 さとみ

2月10日、ホテル日航大阪にて「335-Bアラートチーム決起集会」が開催されました。

“アラート発足おめでとう!! 良いスタートの日になり、335-B地区の誇れるアクティビティとなるでしょう!”と吉村第1副地区ガバナーの喜びと激励の言葉から始まりました。続いて那賀LC会長L大西より「台風21号での体験談」や、各ライオン達がそれぞれ被災地へ足を運び、それぞれの想いをもちながらボランティア活動に奮起されたお話が満載でした。

次に大阪府社会福祉協議会事務局長の森垣学様を迎え、阪神大震災を「ボランティア元年!」とした中で、今後ライオンズクラブとして何ができるか?また、ボランティアの押し売りにならないよう、ボランティアの在り方や進め方をお話頂きました。

335-B地区災害時における組織【災害対策委員会】の設置で4つの班が作られ、それぞれの役目が決まりました。



- ① **食料・物資調達班**…レトルトのごはんカレーセットをクラブ単位で用意してはどうか?
- ② **被災者ケア班**…被災してから3日後～1週間後に心の変化(PTSD・うつ病等)にどのように対応していくか?
- ③ **炊き出し班**…被災してすぐにレトルトを支給、後に温かいモノを現場で調理する。
- ④ **ボランティア班**…各地の社会福祉協議会との連携で、ボランティア難民を作らないように指示系統を素早く出来るようにする。

335-B地区の「アラート元年!」発足です!!



各クラブ会則研修会

地区マーケティング・コミュニケーション委員 田中 秀明



2017年12月11日、ライオンズ必携第57版が大幅に改正されたことに伴い、各クラブ会則研修会が行なわれました。165クラブより会長と事務局員の最低2名以上の出席ということで総勢約350名の方々が参加されました。

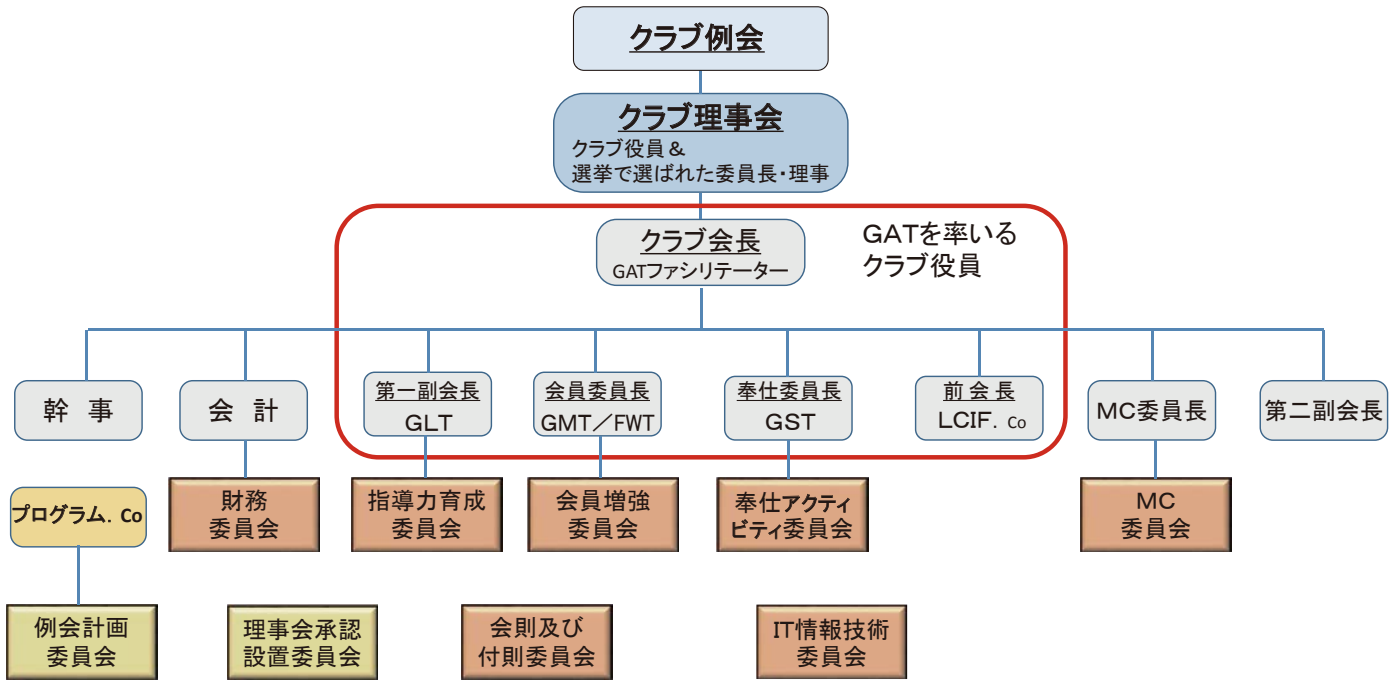
八木会則委員長の開会の挨拶に続き、柿原地区ガバナーからこの研修会の意味とLCIフォワードの重要性についてのお話がありました。

次に研修に移り、吉村第1副地区ガバナーから今回の必携の改正点、特にLCIフォワードの内容について映像を通して説明

- がありました。
- LCIフォワードとは2015年度から5年間の戦略計画です。
- ① アクティビティを見直して、強化する。
 - ② ライオンズクラブのイメージや知名度を向上させる。
 - ③ クラブや地区組織を質的に向上させる。
 - ④ 会員獲得の幅を拡げ、影響力を拡大する。

これは「毎年、2億人を超える人びとの生活を改善し、人道的な影響力を3倍にすること」を目的としています。その遂行のためにはGAT(グローバル・アクション・チーム)をGST、GLT、GMT、FWTで組織します。このことは各クラブにおいても同じ形式で、更にLCIFコーディネーターを加えてクラブ役員・理事会の構成を変更する必要があります。

最後に「ライオンズクラブ国際協会は次なる100年を目指して多様化するニーズを満たすために、組織を柔軟に改変する」という説明で終了しました。



次世代リーダー育成セミナー

第6期生 第6回

地区マーケティング・コミュニケーション委員 伊集院 峰子

2017年11月28日、第6回次世代リーダー育成セミナーがホテル日航大阪にて開講されました。

川野335複合地区GLTコーディネーター・前地区ガバナー・名誉顧問会議長が『夢と情熱 その後』を講演されました。体を前に傾けてダンボの耳になるぐらい興味深いお話をされました。

次にチームワーク:関係の構築では高木GLT・次世代リーダー育成委員長が、『鷹の群れに学ぶ。』で「チームとは共通の目的に向かって取り組む人々である。鷹は群れでV字に飛ぶことにより飛行距離は71%も伸び、病気や傷を負った鳥がいる時には2羽の仲間がその鳥の後に従い群れを離れ、傷ついた仲間を手を貸し守り、最後まで寄り添い飛べるようになるのを待ち元の群れに追いつくか他の群れと共に出発する。」を例に「私たちのライオンズクラブはそういう方々が集まった優秀な人材のいる奉仕団体である。We Serve!各クラブのライオンズクラブメンバーが一致団結することにより、より良い奉仕活動を行うことができ、ゾーン・リジョンで団結することにより、なし得ないことも出来る!垣根を越えて素晴らしいアクティビティを目指して参りましょう。」との説明がありました。

受講者の皆様、あと3回の講習会を楽しみながら、一緒に勉強して参りましょうね。



第7期生 第2回

地区マーケティング・コミュニケーション委員 杉本 光傑

2017年12月5日、ホテル日航大阪に於いて、30名の受講者が参加して、第7期生の第2回セミナーが開催されました。

高木GLT・次世代リーダー育成委員長の開会の挨拶に続き、吉村第1副地区ガバナー挨拶では、「楽しく受講しよう。」とお言葉がありました。

川野前地区ガバナーの講演『夢と情熱 その後』では、地区ガバナー当時のアクティビティの紹介、335複合地区GLTコーディネーターとしての現在の活動が報告されました。その後、ライオンズに関するパネルクイズが出題され、川野前地区ガバナーの小気味良い司会のおかげでまだ第2回で硬かった受講者の表情が緩み、楽しくライオンズの勉強ができました。

休憩を挟んで、高木委員長より『リーダーシップの基礎』のレクチャーがありました。ライオンズリーダーとしての「効果的なリーダーの行動及び資質」を学んだ後、6グループに分かれてケースメソッドに従ったグループ・ディスカッションが行なわれました。最後に、それぞれの成果が発表されましたが、各グループが多角的に事例分析をしていました。

その後の西村GLT地区コーディネーターの総評では、「今回学んだライオンズとしてのリーダーシップは汎用性があるので、自身の事業でも活用して欲しい。」と述べられました。そして、田中第2副地区ガバナーの激励の言葉で、今回のセミナーは終了しました。



第6期生 第7回・第7期生 第3回 合同

地区マーケティング・コミュニケーション委員 廣瀬 弘二

3月19日、第6期生 第7回・第7期生 第3回合同の次世代リーダー育成セミナーが開催されました。第6期生の30名と第7期生の22名が参加しました。

第1部は335-C地区の後藤典生地区ガバナーの講演「奉仕の心」という演題でのお話しでした。後藤地区ガバナーは京都の高台寺の執事長であり、1996年に京都洛陽LCに入会され、仏教の教えの「慈悲」「無常」「色即是空」はライオンズクラブの「We Serve」と同じだとの信念で活動されている深いお話でした。「慈悲」は相手の痛みを自分のものと感じる心の同一、「無常」は今を大事に生きる、「色即是空」は先入観念を捨てることだそうです。

また、後藤地区ガバナーがアガワル国際会長にお会いした時に「日本の子ども達は幸せ、世界には不幸な子ども達も多くいる」「世界が平和で人々が幸せでありますように、という日本の願いはライオンズクラブの願いと同じ」と仰ったことが印象的だったとも話されました。

第2部は8つのグループに分かれ「もしも地区ガバナーになったら『私の4つのお願い』」をテーマにグループディスカッションが行なわれました。地区委員長の皆さんも1つのグループで参加され、9グループとも全員地区ガバナーになるつもりで熱心に討議され、グループ毎に発表されました。



新会員スクール



in 和歌山

地区マーケティング・コミュニケーション委員 片桐 章浩

参加された新会員の感想

地区ガバナーの言葉を聞いて、改めてライオンズクラブに入会して良かったと思いました

新会員ですが、早くクラブ運営を担える存在になりたいです

和歌山LCに入会させて頂いて約半年が過ぎました。いろいろ先輩諸氏に教えて頂いている事もあり理解していた内容はありましたが、この日は新会員にとって勉強させて頂くいい機会となりました。以前に吉村先輩に詳しくわかりやすく説明して頂いていた内容ばかりでしたので、再認識することができました。まだまだ未熟な私ですが、たくさん勉強していきたいと思います。

1月15日、ホテルグランヴィア和歌山に於いて、また1月31日、ホテル日航大阪に於いてGLT委員会主催で「新会員スクール」が開催されました。総勢約230名の参加者は「ライオンズクラブ国際協会について」「複合地区及び地区について」「ライオンズの会則と用語について」などの講義を受け、クラブの基礎を学びました。

柿原地区ガバナーが「1人の力は小さいけれど、集まれば大きな

力になるので入会した」と入会時の思いを話してくれました。

そして「私達は、自分を育ててくれた人と社会へ恩返しをすべきだと思います。私は生きている限り社会奉仕を続けたいと思っています」とライオンズクラブへの強く熱い思いを語ってくれました。

335-B地区は今年度3月末現在で458名の入会者があり、今回のスクールの成果を機として更に会員拡大に努めていきたいと考えています。



in 大阪



《祝》クラブ結成おめでとう!! 大阪ピースライオンズクラブ結成会

地区マーケティング・コミュニケーション委員 風間 正信

3月6日、太閤園にて大阪ピースLC結成会が開催されました。スポンサークラブは2R1Zの大阪桜之宮LCです。大阪桜之宮LCより新クラブ結成に関する経過報告、確認事項が説明された後、大阪ピースLC会長L豊池より挨拶がありました。

豊池会長のお話では「大阪ピースLCの基本は「We Serve」であり、やるからには改革します。安い金額でお金をなるべく使わないクラブにします。人件費・家賃はお金がかかるので、我が会社を事務所にしました。メンバーは平均43.7才と若いクラブで、お金の負担がかからないようにします。27名で発足していますが、5月31日の

チャーターナイトまでには数人増やす予定です。」と新クラブに対する熱い思いが語られました。

柿原地区ガバナーからの承認署名の後に新クラブ全員にラベルピンを付けて頂きました。その後、地区ガバナー、スポンサークラブより目録贈呈と進行していきました。

大阪ピースLCの第1例会は無事に終了し、懇親会に入り「また会う日まで」を全員で輪になって歌って大変盛り上がり、素晴らしい結成会でありました。



●結成年月日：2018年3月6日 ●会員数：27名 ●チャーターナイト：2018年5月31日

●スポンサークラブ：大阪桜之宮LC ●会長：豊池重信／幹事：中本卓弘／会計：豊池優香

●会員名

阿部 誠／池田 超／今仲 利恵子／遠藤 寿恵／香川 幸男／金光 豊／カマエヴ 里紗／小林 和明／清水 康弘／田中 務／谷岡 瑞光／田上 晋也／豊池 重信／豊池 優香／中川 智香／中田 成哉／中西 佑樹／中本 卓弘／新田 悟朗／花田 章弘／花田 祐貴弘／濱田 亨／樹家 真由美／松浦 正和／三上 伸一／森口 志穂／米田 剛進／

Lions Clubs International Foundation

ライオンズクラブ国際協会は、主要な人道組織の1つであり、その正式な慈善組織であるライオンズクラブ国際財団(LCIF)は、ライオンズの地域および世界での人道奉仕活動に援助金を支給して、ライオンズの善意の活動を支援しています。

ライオンズクラブの奉仕活動



会費・献金の行方は



- *あなたが納めるクラブ会費 ➡ クラブ運営費
- *あなたが納める国際会費 ➡ 国際協会運営費
- *あなたのドネーション ➡ クラブ事業費=地域密着
- *あなたの献金 ➡ **LCIF支援交付金**
LCI= * 国際的事業
* 単一クラブではできない大事業

国際的支援事業の事例



- * 東日本大震災への支援金 ➡ **2,100万ドル** (約21億円)
- * 熊本地震災害への支援金 ➡ **325万ドル** (約3億2500万円)
- * 北九州北部豪雨災害 ➡ **10万ドル** (約1千万円)

献金 < 交付金

- * 投資運用により毎年利益を出しています
- * フィナンシャルタイムズより透明性世界一の評価を受ける

ライオンズはしかイニシアチブ



LCIFは2017年中に3千万ドルを集め、より多くの子供に「はしかの予防接種」を届けようとしています。あなたの気持ちをLCIFに託し、子ども達に未来を与えませんか？

一般援助交付金の活用実績

大阪中部LC・大阪福島LC

●ミャンマーに3年間で小学校2校建設



大阪東淀LC・大阪ラブリーLC

●視覚特別支援学校へ器具寄贈



大阪はなみずきLC・大阪天満LC

●送迎用福祉車両2台寄贈



大阪天神橋LC・大阪新大阪LC

●フィリピンに小学校建設・備品寄贈



御坊LC・南部LC・御坊中央LC

●福祉車両(献血推進車)と備品寄贈



一般援助交付金の申請は？

- ① **申請できるのは**
 二つ以上のクラブ、または地区・複合が申請できる。
 ※単一クラブの申請は受け付けられません。
- ② **地区で申請できる件数は？**
 地区として常に2枠、金額上限で15万ドルの枠がある。
 事業実施後、LCIFへ最終報告を提出しないと枠は空かない。



◀ 岡本 昭氏



人道支援
パートナーピン

昨年度、L岡本 昭(大阪天王寺LC)は『人道支援パートナー(MJF累積100口達成者)』となりました。L岡本は昨年度だけで148口献金をされ、MJF累積200口を達成されました。人道支援パートナーになられるとヒューマンタリオンライオン像とピンが授与されます。

クラブ100%MJF達成

大阪南ライオンズクラブ



左から、LCIF委員長 高橋澄代
335複合地区

LCIFコーディネーター 北畑英樹
大阪南ライオンズクラブ 会長 鳥山雅庸
LCIF地区コーディネーター 佐野圭一

100%MJFパーナ
(イエローフラッグ)
の贈呈。



大阪帝陵ライオンズクラブ



左から、L高橋、大阪帝陵ライオンズ
クラブ会長 廣瀬裕平、L北畑、L佐野

地区マーケティング・コミュニケーション委員が取材する

私のクラブ⑤

5R2Z 吹田江坂LC

クラブ会長：黒木 伸治
 クラブ幹事：城之園 竜介
 クラブ会計：生田 圭一

吹田江坂LCは、2017年6月15日の最終例会を期に、現会長のL黒木 伸治へとバトンを渡され、会長・幹事の夫婦デュエットでのスタートとなりました。ゲストには歌手を目指すフィリピン出身のアルメリノ・アナリンさんを迎え、素晴らしい歌声にメンバーたちが魅了されました。フィリピンは日本のスポンサー国だということもあり、L花房がライオンズバッヂをアナリンさんに授与され、アナリンさんは数日後にそのバッヂを付けて「カラオケバトル」というテレビ番組に出演されました。



吹田江坂LCの様々なアクティビティを紹介します!!

①「献血アクティビティ」

当クラブは、献血活動をととても大事にしています。献血者が年々減少していく中で、どうしたら若い人達に献血の必要性を理解してもらい、また献血してもらえるか?子どものうちから意識付けをしていけないだろうか?・・・と常に考えていました。

そこで、地域の小学校には「アンパンマンのエクス」という動画をDVDで配布し、観て理解を得られるような仕組み作りと、近隣の大学には定期的に学園祭などで献血を呼びかける活動を始めました。



②「吹田江坂ライオンズクラブ杯 少年サッカー大会」

毎年、当クラブが主催でエコキャップ運動と同時に行われる「吹田江坂ライオンズクラブ杯 少年サッカー大会」は、今年度で13年目となり、地元吹田では子ども達を中心にたくさんの方々に喜ばれるアクティビティとなっています。

本年の開会式ではあいにくの雨のため、学校内入り口の下駄箱にて18チームの子ども達と押し競りまんじゅうをしながら式が始まり、各チーム代表の選手達がどれだけ長くリフティングが出来るか?という「リフティング大会」も盛り込み、大いに盛り上がりました!

また決勝戦・閉会式では「吹田市立サッカースタジアム(通称:ガンバスタジアム)」での開催となり、優勝された「レオSC」、準優勝の「フィオーレ大阪吹田2nd」の選手はもちろん、保護者やチーム関係者の方々も『生の芝生』とスケールの大きさに大はしゃぎでした!



次に例会を紹介します!! 「吹田江坂LCの例会は楽しい!!」

メンバーの会社敷地内でのバーベキュー例会や松茸すき焼き、カニすき例会など、家族での参加がとても多く、いつも賑わっています。

毎月行われる“メンバーズ・リレー”。タスキを渡すように指名式でメンバーを紹介するコーナーです。各メンバーの人柄や会社の内容などの情報は事前に会社訪問してインタビューしています。年齢が30～80歳代と幅広い中でメンバー1人ひとりの事が良く分かり、更に親近感が湧いてくるといった良い相乗効果があり、クラブ内では大好評です!



おわりに・・・

例会やアクティビティなど色々な活動がある中で、若いメンバーたちが動けばチャーターメンバーなどの先輩メンバーが活動を共にしてくれ、優しく手を差し伸べてくれます。皆が助け合い精神を持ち、地域の子も達や頑張る人たちを応援していき、常に“笑顔と優しさ”があふれる・・・

**「若いメンバーたちが動けば
チャーターメンバーなどの先輩メンバーが
活動を共にしてくれる」
「常に“笑顔と優しさ”があふれる」
そんな吹田江坂LCが私のクラブです!!**



地区マーケティング・コミュニケーション委員が取材する

私のクラブ⑥

6R1Z 島本LC

クラブ会長：L 野村 行良
 クラブ幹事：L 至田 大助
 クラブ会計：L 中村 弘子



伊集院：自クラブの自慢をお願いします。

野村会長：メンバー数28名、その内家族会員9名と少人数ではありますが「小粒でもピリリと辛い山椒」のように
メンバー個々の持つ力は強く団結力と絆の強いところです。

伊集院：そうですね。数年前の6R1Z合同アクティビティ「鶺鴒のヨシ狩り」ではメンバーの団結力を感じました。

野村会長：他にも、自クラブの**継続アクティビティで汗を流したり**、毎年クリスマス例会では有志メンバーが出し物を披露したりと**「やるときはやる」「遊ぶときは遊ぶ」とメリハリがしっかりしていること**も自慢です。

伊集院：来年のクリスマス例会も楽しみですね。

伊集院：ライオンズクラブに対する思いをお聞かせ下さい。

野村会長：**地元への奉仕を最優先に**、先輩ライオンの築いてこられた歴史を大切にしつつ新しいことにも取り組みたいと思っています。

伊集院：335-B地区では「ノンライオンを巻き込んだ新事業を企画して下さい」とお願いがありますが、貴クラブではそのような事業はお考えでしょうか。

野村会長：はい。3月29日に島本町教育委員会、社会福祉協議会を通してPTAの方々と「力士との交流会」を実施しました。

伊集院：それは老若男女喜ばれたことでしょう。素晴らしいアクティビティですね。

野村会長：来年も楽しんでもらえるよう頑張ります。



伊集院：自慢アクティビティは何でしょうか。

野村会長：今年45回目を迎えた島本町住民チャリティーゴルフ大会です。

このチャリティーゴルフは町民・地元企業等、一般参加型のゴルフ大会で、協賛金や品もたくさん頂き、
当日メンバーは会長以外プレーには参加せず、裏方に徹しております。主催は当クラブですが、

**住民代表との打ち合わせ会や反省会も開催し
ノンライオンを巻き込んだ事業**といえると思います。

伊集院：45年の歴史に重みを感じます。今後もぜひ継続して下さい。

野村会長：はい。クラブがある限り続けていきたいとメンバー一同思っております。



島本町住民チャリティーゴルフ大会は毎年5月3日に開催しており、今年で45回目の継続アクティビティです。住民、地元企業、行政との交流を深めると共に、求められていることに応えるために実施しております。この地元参加型の島本町住民チャリティーゴルフ大会で得た資金を基に地元に貢献できるアクティビティの一環として水無瀬神宮に登録有形文化財6種類の文面を入れた石碑を寄贈させて頂きました。



【取材した感想】

島本LC会長への取材を通してクラブの団結力の強さを改めて感じる事ができました。これからも、メンバー一丸となって楽しみながら、クラブが繁栄することを願います。

地区マーケティング・コミュニケーション委員が取材する

私のクラブ⑦

7R3Z いずみそれいゆLC



クラブ会長：L 藤井 美代子
 クラブ幹事：L 小山 美千代
 クラブ会計：L 高田 雅世



杉本：7R3Zの女性クラブ、いずみそれいゆLCを取材したいと思います。
 まずは、クラブ名の由来を教えてください。

藤井会長：「それいゆ soleil」は、フランス語で「太陽」のことです。
 太陽のようにあらゆる人に光と温かさをもたらすことができるよう、
 全員が力を合わせ活動しています。

女性ならではの思いやり、心遣いを忘れず、 毎回楽しい例会を行なっております。

杉本：合同例会などで一緒になると、女性メンバーの参加で華やかな雰囲気になりますが、
 普段の例会の様子はどのような感じですか？

藤井会長：三市一町（高石市、泉大津市、和泉市、忠岡町）を中心に、奉仕という精神のもとに
 パワー溢れる女性が集まっています。女性ならではの思いやり、心遣いを忘れず、
 毎回楽しい例会を行なっております。その成果が、今年度の4名の新会員に結びついていると思います。



杉本：今期の会長テーマ「スマイル!スマイル!スマイル!愛をこめて奉仕を」

には、どのような思いが込められているのか聞かせて下さい。

藤井会長：若くして四国から大阪へ、主人だけを頼りに来て、子育てと仕事に明け暮れていましたが、52歳の時に主人に先立たれ、途方に暮れていました。そんな折に、例会見学にお誘い頂き、皆様の笑顔と活力にすごく勇気づけられ、笑顔の力は計り知れないと身をもって感じましたので、一人でも多くの人に恩返しができるかと思入会を決めました。例会に出席したメンバーには、必ず何かしら言葉を発して欲しいという思いから、メンバー全員で、「スマイル!スマイル!スマイル!」を合言葉にしております。

第10回 三市一町☆中学生のメッセージ
~青少年は地球の宝~

【日時】平成29年11月11日(土)
午後1時~4時半

【会場】ホノリホール1F大ホール
高松市教育委員会5-1 TEL: 0725-23-1111

【参加費】無料
※高松市教育委員会でもお申し込み可。予約可。又お申し込みは不要です。

【主催】いばなれい10周年委員会、高松市教育委員会
高松市教育委員会、志摩市教育委員会

【要項】

【目的】青少年がしっかりと自分の考えを表現する力を養う。さらに一歩進んで文書を発表する。

【議題】自由。ただし発出原稿の交換は認めない。

【発表時間】6分。ただし発表時間と6分超過は認めない。

【発表形式】原稿を提出することのみ。発表は自由。

【審査基準】原稿と発表の両方を評価し100点満点で採点。

【発表】発表時間1分、発表時間2分、10分オーバー(超過発表)。

【お申し込み】10月2日(月)~10月23日(月)に発表原稿と申込書を添付して下記にご送付下さい。(郵送・FAX・Mail可)

【お申し込み先】〒765-0002 高松市教育委員会 107
高松市教育委員会 107
高松市教育委員会 107
高松市教育委員会 107
TEL: 0725-23-8833 FAX: 0725-23-8835
E-mail: 0725@hokusei.or.jp

杉本：アクティビティの中では、「中学生のメッセージ」が注目されているそうですね。

藤井会長：今年度で第10回を迎え、おかげさまでこのアクティビティは皆様に浸透し、今回は三市一町の市長様、町長様に全員出席頂きました。

今、大変問題になっている「いじめ問題」をテーマにした発表でも、熱意に溢れ、前向きに生きる希望と勇気を持てるメッセージを聞かせてもらいました。

杉本：クラブ単独での献血活動は、どんな雰囲気ですか？

藤井会長：当クラブは前年度に初めて単独献血活動を行ないました。2回目になる単独献血活動を去年10月15日に行ないましたが、雨にもかかわらず、1回目より多い100名以上の登録となりました。メンバー全員が、ずぶ濡れになりながらも、着ぐるみを着る人、呼び込みをする人、粗品をお渡しする人と手際よく進み、赤十字の人達もビックリされました。

メンバー全員で、「スマイル!スマイル!スマイル!」を合言葉にしております。



クラブ会長：L 妹尾 富恵

クラブ幹事：L 山本 令子

クラブ会計：L 津田 多紀子



池田：自慢のアクティビティをお聞かせ下さい。

妹尾会長：私達、岸和田コスモスLCは大阪府赤十字血液センターからの要請で、年に3、4回程度献血奉仕を行なっております。

2017年11月15日にも寒い日でしたが、南海電車岸和田駅前に立ち「献血にご協力下さい」と呼びかけました。この日は9時30分から16時30分まで呼びかけ、目標数よりはやや少なかったのですが、40名の方々に協力して頂きました。

池田：献血奉仕を行なっていて感じることや思うことはありますか？

妹尾会長：献血に協力して下さる方はたくさんいるのですが、医師の診断で献血をご遠慮頂く場合があります。それは、体重が献血基準に満たしていない、血色素量が軽い、海外から帰国した日(入国日)当日から4週間以内の方、特定の病気にかかったことのある方など、たくさんあります。

そのような献血基準を満たし、**献血をして頂けるという事は非常に貴重であることがわかります。**

池田：献血は、献血者の健康を守るための工夫もされているのですね。

妹尾会長：先日、夕刊を読んでいたら献血について中年の女性が投稿した記事がありました。

「娘時代に2、3回献血したことがあり、当時は血を採られるだけでトボトボ帰ったものだった…

先日、旧友から献血に行こうと誘われ、30年ぶりで献血に参加したところ、昔とは大違いで

飲み物は頂けるし、終われば“バスの中でゆっくりして下さい”と休憩させて下さり、

待遇の良さにびっくり!!これからも参加しよう」という内容でした。

私は、**こんな方々が何人も参加して下さいれば!**と手を叩きました。

私達岸和田コスモスLCも献血して頂いた方々にはお礼として、

お菓子やボールペンなどのお土産袋をお渡ししております。

今後も一人での多くの方に快く献血して頂けるよう努めていきます!!

その他のアクティビティ

薬物乱用防止教室に参加

(11月29日にモデル校である和歌山市立藤戸台小学校へ)

第14回チャリティーバザー開催



献血活動を楽しんでいます♪



献血活動②お礼のお土産もたくさん用意しました



和歌山市立藤戸台小学校へ薬物乱用防止教室のお手伝い



例会風景

クラブ

■堺ありがとう支部(堺フェニックスLC)

支部会計 天満 康博

堺フェニックスLC堺ありがとう支部は2014年に仕事上の関係のあるライオンズのメンバーの方からの誘いで立ち上げる事となりました。正直、他クラブの支部のような崇高な理念や目標があった訳ではなく、漠然と「一緒にボランティアしよう、楽しいよ」の一言で集まりました。全員「初めまして」のメンバーの中で戸惑いもありましたが、会長役を引き受けてくれたL松原が様々なボランティアの案を我々に与えてくれました。

実は「ありがとう支部」という名前はL松原の発案で、「何かあったらありがとう」「何も無くてもありがとう」「何が何でもありがとう」という意味があります。堺ありがとう支部のアクティビティとして、野菜の収穫体験と古民家での様々な

催し、これらを通じて子ども達に食べる事の大切さ、物作りの大変さや面白さを知ってもらう、また高校生以上の生徒さんや大学生の方達にも活動を知ってもらい、また参加して頂き、もっともっと農業に携わる若い力を育てていける支援ができればと考えております。

現在、メンバーは5名と少なく、支部だけではアクティビティも盛り上がりませんので、親クラブである堺フェニックスLCにも協力頂いております。「誰のために」「何のために」を明確にして楽しげに色々活動していれば、自ずと人は集まって来ると考えます。これからも明確な目的を持ったアクティビティを展開していき、支部の活性化、会員増強に繋げたいと思っています。

■泉州南なでしこ支部(泉佐野中央LC)

支部会長 中庄谷 ひとみ

泉佐野中央LC泉州南なでしこ支部は旧泉州南なでしこLCのメンバーの集まりで、2008年より次世代の子ども達に「薬物と関わる事のない人生を送ってもらいたい」との一念で薬物乱用防止活動を継続しています。

2017年11月13日には大阪府庁本館において薬物講習活動始動から10年目を迎え、大阪府知事より『平成29年度大阪府薬物乱用防止功労者』の功績が認められ、感謝状を拝受致しました。

1月29日にも熊取南小学校にて薬物乱用防止講習を実施しました。今後とも子ども達の未来のために活動を続けていきます。



■交野支部(枚方LC)

支部会長 田口 敬規

交野支部は2015年7月22日に結成致しました。

2018年3月末現在、支部会員数5名という状況ですが親クラブである枚方LCの活動(献血奉仕や河川奉仕など)に参加し、共に色々学ばせて頂きながら、交野支部としての独自の活動を模索している状況です。また活動の幅を広げるためにも、メンバーの増員を目指してメンバー全員で声かけ活動を続けております。今後も親クラブの皆様や地元の方々のお知恵をお借りしながら活動を続けていく中で、存在感や認知度を高めていきたいと考えております。

今後とも何卒ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。



支部特集

桜支部(岸和田シニアLC)

岸和田シニア LC 会計 窪田 喜輝



桜支部は結成2015年10月29日から2年半が経過致しました。立ち返って見ますと、ライオンズクラブの歴史・組織・奉仕活動等を学び机上論に終わることなく、実践的には親クラブの献血奉仕・清掃奉仕に参加しながら、自分たちで何ができるのか皆で意見を出し合っています。1年前からは、家庭で眠っている「古着・ゲーム機&ソフト」を出し合い、ネットツールを活用して事業資金獲得事業をして人道支援策等にと考えています。

今後は、親クラブ、クラブ支部に呼びかけて協力頂き、何としても早い時期に奉仕活動を実施したいと鋭意取り組んでいます。

ハーベスト支部(堺泉北LC)

地区 GMT 委員 清岡 憲二郎

ハーベスト支部は、2016年1月に5名のメンバーで立ち上げました。会費は月7,000円で、半期ごとに納入するようにしております。半年後の7月には7名に増員致しましたが、

現在は4名に減少しております。

支部独自の奉仕活動はまだ行なっておりませんが、親クラブのアクティビティに積極的に参加しております。また、



親クラブの例会にも月に1回の出席を義務付けており、クラブメンバーとの交流も一泊例会、クリスマス例会、家族例会、クラブのゴルフ部加入などを通して、一般会員と隔たりのない関係を築いております。

今後の課題としてはメンバーの増員を図り、この『ゆうあい』が発行される頃には6名を達成したいと計画しております。ハーベスト支部独自のアクティビティとしては、堺泉北LC結成30周年事業の一環として大阪府立堺支援学校を対象として行うよう準備中です。

尚、この支援学校へのアクティビティと、ハーベストの丘への植樹を今後のハーベスト支部のメイン事業に考えております。

陽日(はれま)支部(大阪シニアLC)

1R3ZZC 田中 義秋

陽日(はれま)支部は2016年2月3日に結成致しました。入会金3,000円、月会費3,000円で運営しています。2018年3月末現在、支部会員数7名、平均年齢は37.7歳です。

結成経緯は、親クラブである大阪シニアLCがクラブ名の通り、2015年秋から20名中17名がシニア世代(平均年齢は71才)になり「クラブの5年・10年後を考えると、このままでは存続が危ぶまれる」というメンバーの一言から、準備委員会が発足され、支部の有り方、指導方法、将来の展望等が議論され、それぞれが若い世代や奉仕に興味があるが、「経費的・時間的に余裕が無い」方に声掛けをし、説明会を開催、「経費・例会出席義務等を説明、2年後に正会員」になるようにとの承諾の上、結成の運びとなりました。

例会は、月1回は「支部連絡員同席」で行なっています。アクティビティは親クラブと一緒に活動を継続中です。

親クラブは良い刺激を受けており、アクティビティ・例会の活性化・若返りで全メンバーが楽しく、活動しています。



IIかがやき支部(大阪高津LC)

GST 地区コーディネーター 森田 孝

結成2年目の大阪高津LC「かがやき支部」。かがやき支部は2016～2017年度、当時会長のL柴田が精力的に支部設立に取り組まれて結成されました。

支部会長は、シャンソン歌手のL松本かずこ。メンバーは、L松本を中心に外国の方や、多くの才能をもつ5名が活動しています。今期3名以上の増員を目指しています。特に松本支部会長のシャンソン歌手としての特性を活かして、文化活動を中心のアクティビティを計画中です。

大阪高津LCと共に、チャリティーコンサートなど活動の場を広げていくことを模索しています。



IIわかふじ支部(大阪福島LC)

支部会長 西口 英和

わかふじ支部は2016年4月に結成され、当時の会員数は11名でしたが、現在は女性2名を含む14名が在籍しています。我々若手メンバーが集う地元福島区の「のだふじ」は全国的にも有名で、1995年に区の花として制定され、当クラブ支部名の由来にもなっています。毎年4月に開催される親クラブ主催の「のだふじウォッチングスタンプラリー」は、区内外から大勢の方々が参加される一大アクティビティで、共に運営に携わり、区の発展に寄与しました。昨年は親クラブからの呼び掛けで約120名もの地元中学生も参加下さり、「のだふじ」の次世代への啓発にも繋がりました。

8月には区的环境に対する取り組みとして、野田阪神駅前にて打ち水大作戦が開催され、区長をはじめ地元企業の方々と共に打ち水を行ないました。わかふじ支部からは、地元女子高校生にゆかたを纏っての参加を依頼し、アクティビティに華やかさを加えることができました。

その他、駅前周辺等の清掃を月に一度定期的に行なう

ことで、地元住民の方々にライオンズクラブの存在を知って頂き、その活動内容について少しでも関心を持って頂ければと願っています。定例会は、IT定例会を年に数回開催し、忙しくて毎回出席が困難でも、SNS上にて議案の審議には加わることができるよう配慮しています。

このように、わかふじ支部は個性豊かなメンバーで構成されており、アクティビティはいつも活気で満ち溢れています。今後、女性会員も増える予定で益々の発展が期待されます。



II菜の花支部(大阪梅田中央LC)

支部幹事 竹ノ内 美代子

「芸達者支部」の異名を持つ大阪梅田中央LC菜の花支部は2016年9月に誕生し、現在アパレル、料理、音楽、アート、マーケティングや行政など様々なバックボーンをもつメンバー8名で活動しています。

主なアクティビティは、献血等親クラブのアクティビティへの参加をはじめ、活動地域の清掃やバザー出店等です。

昨年の地域イベント「お月見BBQ」は企画段階からL秋庭が加わり、近隣の学生さんや婦人会の方、若いご家族、地区

の行政の方など属性や年齢層を横断して行う一大アクティビティとなりました。料理提供やバルーンアートの他、地域の子も達と満月を描くライブペインティングは、アーティストでもある支部会員L平田が担当し、最後はその絵の前で盆踊りを行ない、メンバーの個性を生かした笑顔あふれるアクティビティになりました。

今後も都心のコミュニティ作りに貢献しながら積極的に活動していきたいと思ひます。



|| Jr.支部(大阪LC)

支部会長 藤井 謙太郎

大阪LC Jr.(ジュニア)支部では2月11日、社会福祉法人向陽学園(東大阪市)に於いて、教諭・生徒主催のドッジボール大会に参加しました。この学園では例年、夏・冬の年2回ドッジボール大会を開催しており、今回Jr.支部は冬の大会への競技参加及び大会後の懇親会(鍋パーティー)への参加協力及び食材提供を行ないました。

当日は寒空の下でしたが、学園の駐車場スペースを使い、ドッジボール大会ではJr.支部単独チームとして、3チームに分かれた学園の教諭・生徒達の合同チームとのトーナメント戦に参加しました。それぞれの対戦では冬の天候にも係らず汗をかくほど熱中し、楽しい時間を過ごしました。

ドッジボール大会後は校舎内の一室にて10テーブルほどに分かれて、カレー鍋を中心とした教諭・生徒達との懇親会・鍋パーティーに参加しました。Jr.支部のメンバーはそれぞれのテーブルに1、2名に分かれて調理補助や団らんに加わり

ました。懇親会の開始前にはドッジボール大会の表彰式を行ない、優勝チームにはJr.支部協賛のトロフィーとメダルを授与。優勝したチームの生徒達には喜んでもらえました。



|| 泉南ROSE支部(泉南中央LC)

支部会長 富尾 貴美代

泉南ROSE支部は1月9日、親クラブの泉南中央LCで協力のもと、女性5名で結成致しました。早速、1月20日と2月20日に親クラブと共にイオンりんくう泉南店で献血運動に参加

させて頂きました。ドキドキしながらの初活動でしたが、これから少しずつ取り組んでいきます。今後とも皆様の暖かいご支援とご指導をお願いします。



|| ひまわり支部(枚方シニアLC)

枚方シニア LC 会長 原田 陽造

3月16日、枚方シニアLCひまわり支部が結成されました。支部結成の経緯としては、枚方LCの中村GST西日本エリアリーダーより、「奉仕活動の一環として掲げておられる『糖尿病啓発事業』に特化した奉仕活動を応援できる支部を作れないか」と呼びかけがありました。当クラブ内で検討を重ね、メンバーが多くお世話になっている医療法人みどり会の看護師の方に事情を説明し、なんとか5名の看護師の方にご賛同頂き、支部結成の運びとなりました。

今後は皆様のお力を借りながら糖尿病啓発に特化した奉仕活動に励んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



ク/ラ/ブ/ア/ク/ティ/ビ/ティ/

1R3Z 大阪淀川LC

淀川区民まつり「イカ焼」出店

2017年9月16日、淀川区民祭りにてイカ焼を出店しました。このアクティビティは継続事業で、地域社会での大阪淀川LCの認知が深まっています。事業収益も多少なりとは望んでいますが、区民の皆様が集われる時に、美味しくて安いイカ焼を提供し、地域の皆様に喜んで食べて頂くことはメンバーの喜びです。

この日は台風18号が接近、朝から雨でした。前日の合同例会場で主催者が取り止めにしない限り、地域のお祭りだから雨でも会場に行って参加しようと、皆で決めていました。

朝10時にイカ焼材料、機具など一式を積み込み、会場へ。“淀川区民まつり”は会館のホールの中で催され、グラウンドには出店ブースのテントだけが立ち並び、参加中止のブースもたくさんあります。気を取り直して、イカ焼の準備に取りかかります。12時に開店しました。傘をさしてお買い求めに

お客様がいらっしゃいました。なんと!行列もできました。雨の中、押し車を押し傘をさした老婦人に、空いていた隣のブースへご案内すると、「生まれて初めて食べました、美味しかった。」と笑顔。ありがとうございました。お客様がとぎれると、和気あいあいの会話でブース内は賑やかなメンバー交流の一時でした。

長い間続けていると、こんな奉仕日もあります。We Serve!



3R合同 第7回東日本大震災復興クリスマスチャリティーコンサート

2017年12月2日・9日・16日・23日の4週に亘って、今年で7回目となるクリスマスチャリティーコンサートがホテル大阪ベイタワー1Fロビーにて開催されました。チャリティーは12時より、イベントは12時30分より行われ、皆さんが笑顔になれる楽しい演奏をお楽しみ頂きました。

2日は盛岡陸さん(ピアノ)、上村龍夏さん(バリトン)、

9日は乃木陽子さん(シャンソン)、16日はVocal unit SAKURA(ヴォーカルユニット)、多久潤子さん(ピアノ)、23日は尾崎江利子さん(ピアノ)、大阪大正LCのL金川佳永(ソプラノ)のご出演でした。

被災地の復興を祈りながらの暖かいメッセージとチャリティー募金をたくさんの方々にご協力頂きました。



3R合同 大阪マラソン“クリーンアップ”作戦に参加!!!

2017年11月24日、3R合同大阪マラソンクリーンアップ作戦を開催しました。ライオンは59名、地域関係者は12名が参加しました。

JR大阪環状線福島駅前のホテル阪神「ラクザ大阪広場」を起点として、堂島川に至る約500メートル四方の街のゴミ

拾いを行ないました。

一見美しく整った街ですが、車道沿いの植え込みの中などには驚くほどのゴミが隠れていました。

この事業は、大阪マラソンの機会に“大阪に来られる方を綺麗な街でお迎えしよう”という趣旨で大阪市が主催し、市内全域で毎年展開されるもので、我々はその一端を担うものです。



4R合同 100周年記念
奉仕チャレンジ

チャリティー講演会開催

2月4日、阿倍野区民センターにて4R合同「100周年記念奉仕チャレンジ チャリティー講演会」を開催しました。一般市民とメンバーを合わせて約300名に参加頂きました。

講師は昨年、大阪成人病センターから新生された「大阪国際がんセンター」の松浦成昭総長をお迎えし、2時間講演して頂きました。

2人に1人が発症する癌も、進歩した様々な治療方法や術式で治せる時代になってきています。但し、早期発見がベターなのは今も変わりません。

チャリティー講演会の収益金19万円、4R全クラブからそれぞれ5万円頂いた55万円、合計74万円の寄付金は、がん患者支援団体・つながりひろばとがんセンター医療研究基金に寄付させて頂きました。



5R2Z 箕面船場LC

「南極の魅力とロマン」講演会を開催

盛夏の2017年8月12日、当クラブは箕面市と箕面市教区委員会の後援を頂き、小学生を対象に箕面市立メープルホールで講演会を開催しました。

講演者は、南極調査隊第49次 伊村智総隊長を招聘しました。南極の第一人者です。小学生相手とはいえ手抜きの講演会ではありません。伊村教授が持っておられる南極の魅力とロマンあふれる映像を大ホールの舞台全面に映しての講演会です。最後の質問タイムでは、熱気あふれる質問が、予定時間以上に続きました。

倉田哲郎箕面市長には当日の挨拶をお願いし、教育委員会には市内14の全市立

小学校の全クラスにチラシの配布を依頼しました。

また、南極の氷を無償で提供して下さい、また越冬服一式も展示のために貸して頂きました。この氷はたくさんの気泡が入っていて、説明すると子ども達は興奮気味にいつまでも触っていました。

行政連携で青少年育成目的のグッドアクティビティだと思っています。



10R1Z 御坊中央LC

御坊中央ライオンズカップ開催

2017年11月3日、日高川町・かわベテニス公園にて御坊、日高地方の中学1・2年生を対象としたソフトテニス大会「御坊中央ライオンズカップ」を開催しました。この事業はスポーツを通じての身体的、精神的な青少年育成が目的です。

今年度で34回目を迎えた継続事業で親御さんの中には、昔参加された方もいらっしゃるという話を聞いて、「継続は力なり」と

という言葉が思いました。

実施日も毎年11月3日にして、学校側からも大会があるものだとして認識されています。過去この大会に出場された方の中には、国体で優勝された方や全国で活躍された方もたくさんおられます。

今後もこの事業を続けていきたいと思っています。



ク/ラ/ブ/ア/ク/ティ/ビ/ティ/

10R2Z 新宮LC 100周年記念レガシー・プロジェクト 新宮観光協会へのテーブル・椅子寄贈

1月22日、新宮LCによる100周年記念レガシー・プロジェクト第一弾として、新宮観光協会への紀州材によるテーブル・椅子寄贈しました。

新宮駅前にある熊野交通本社が同地に建て替えられ、それまで新宮駅構内にあった新宮観光協会が熊野交通内に移転しました。

また、今や和歌山県を含む紀伊半島は、世界最大シェアの旅行ガイドブック『Lonely Planet (ロンリープラネット)』の「世界の訪れるべき地域トップ10」の第5位に選ばれ、国内外から訪れる観光客が増加しています。そこで、新宮LCでは、観光協会を訪れる方々のためにテーブルと椅子を寄贈することに致しました。

そこを利用して世界遺産熊野古道を巡る観光計画をゆつくりと立て、熊野地方の良さに触れて頂けるお手伝いが出来ればと思っています。



10R2Z 合同 那智山熊野古道大門坂 合同清掃アクティビティ

2017年12月17日、世界遺産熊野古道の一つである那智山熊野古道大門坂において10R2Z合同清掃アクティビティを行ないました。

この日は勝浦LCにお世話をして頂き、紀南地方には珍しく時折小雪の舞う寒い日曜日でしたが、新宮・勝浦・串本の3クラブで大門坂の清掃を行ないました。皆で石畳の坂と階段を上りながらゴミを拾い集めていきました。足元があまり良くないため意外と負担がかかり寒いにもかかわらず汗ばんできました。

ゴミは意外と多くありませんでしたが、大門坂を登り切り、そのまま那智大社まで更に階段を上り、本殿にてライオンズの更なる発展を祈りご祈祷をして頂き、最後は宇久井の

国民休暇村にて懇親会を開催致しました。

奉仕団体であるライオンズクラブにとって、アクティビティを行う事はとても大切なことです。それと同じくらいアクティビティを行なうメンバー間の交流も大切であると感じた1日でした。



12R1Z 八尾中央LC 薬物乱用防止の功績に対し感謝状授与

我々八尾中央LCは、紅葉色づく晩秋の良き日に厚生労働大臣加藤勝信様より大阪府庁「正庁の間」にて、薬物乱用防止の功績に対し感謝状を受け取ることができました。

今や薬物乱用問題は世界的な問題になっていることは皆様ご周知の通りかと思えます。我々はこの問題に早くから取り組み始めて約12年になります。近くの小学校の校長先生にお願いし「講演の機会を作って頂きたい」とのお話をさせてもらったところ、快く承諾して頂きました。それが最初の第一歩でした。

その後、クラブへの出張講座や他リジョンへの高等学校または企業等への出前講座などでだんだんと「巾」を広げていき、今では9,700名の皆様、また小中学校の生徒たちに講演することができました。その間に保健所薬務課から、また大阪府知事からの感謝状も頂き、ライオンズクラブの奉仕

活動の柱の一つである青少年健全育成に努めて参りました。

今期も企業1社・小学校10校程度の予定があります。今では八尾に危険ドラッグのお店は一軒もありませんし、薬物常用者も居ない?と警察の方から聞いております。

今回の受賞を「糧」として、これから「薬物乱用ダメ。ゼッタイ。」の「輪」をもっと大きく地域社会に広げ、メンバー一同が一丸となって頑張って参ります。





八尾・八尾中央・八尾菊花・八尾うくいずLC



柏原LC



松原LC

12R合同

100周年記念
奉仕チャレンジ

大和川・石川河川敷年末特別清掃



富田林LC



羽曳野LC

2017年に発生した台風21号は日本国中に大きな被害をもたらしました。その際、大和川・石川河川敷にも大量のゴミが打ち上げられました。それを「何とかしよう」という声が上がリ、所属クラブの多くが大和川流域に所在している『12リジョン』が立ち上がりました!

当日は大変寒い中、朝からたくさんのメンバー、そして市民の方も参加して頂きました。そして清掃をしていると天気もどんどん良くなり、活動することで心も体も温くなりました。またその後、12Rの各クラブから335-B地区のFacebookページにたくさんの写真・報告のアップがあり、まさに「12Rはひとつ!」という連帯感が生まれました。

河川敷は大変美しくなり、とても晴れ晴れとしたお正月を迎えることができました。



河内長野LC



藤井寺LC



堺美原LC



大阪狭山LC



南大阪みささぎLC

7R合同

クラブ例会

第14回7R交流合同例会

2017年11月9日にホテル・アゴーラ リージェンシー堺に於いて、第14回7R交流合同例会が開催されました。

第1部の合同例会は、洞淵ZCの挨拶に始まり、片岡RCからは7R合同アクティビティ「糖尿病予防啓発講演会」に向けての協力依頼がありました。そして柿原地区ガバナー、田中第2副地区ガバナー、高橋335複合地区元ガバナー協議会議長の挨拶が続きました。

その後、今年度の満90歳以上・満80歳になる年長ライオン4名が紹介され、壇上にて記念品が贈呈されました。続いて、この1年間の新会員42名が紹介され、その内の一般正会員にブーケが贈呈されました。

第2部の懇親会は、大仲ZCの挨拶で幕を開け、中村房雄元地区ガバナーが乾杯の音頭を取りました。アトラクションでは、六代目竹本織太夫の襲名披露記念として「文楽のいろは」を講演頂きました。そして、90箱の果物が景品として用意された大抽選会が行われました。高橋FWT西日本エリアリーダーによるライオンズ・ローアの後、辻川ZCによる挨拶で閉幕となりました。

「7Rは、ひとつ」を合言葉に、7Rの12クラブから約290名のメンバーが一堂に会しての合同例会は、柿原地区ガバナーにもお越し頂き、熱気に溢れるものとなりました。



地区ホームページをリニューアルしました!!



ライオンズクラブとは

ライオンズクラブとは、世界最大の奉仕団体です。
210か国以上に約48,000のライオンズクラブがあり、143万人を超える老若男女の会員が在籍しています。毎日、世界各国の地域社会で、必要があればすぐ行動し、諸問題を解決するために活動しています。

第101回 ライオンズクラブ国際大会 ネバダ州ラスベガス大会

2018年6月29日(金)～7月3日(日)



届出日 ID	件名 備考	届出 ファイル
2018-03-09 mdl1718076	ライオンズクラブ国際協会335B地区 第64回年次大会登録についてのご案内	2018-04-05
2018-03-08 irel1718075	第43回物故ライオン慰霊祭のご案内	2018-04-02
2018-03-05 irel1718074	第43回物故ライオン慰霊祭 物故者名簿確認	2018-04-02
2018-03-02 col1718073	第101回ライオンズ国際大会 335-B地区推薦ライオン招待状の件	2018-04-13
2018-02-19 award1718072	地区ガバナー表彰 7がバティ賞申請の件	2018-02-28
2018-02-19 env1718071	花いっぱい運動について	2018-03-30
2018-02-15 award1718070	第64回地区年次大会地区ガバナー表彰一般正会員 増補個人賞報告について	2018-03-02
2018-02-15 lclf1718069	地区「ア・ダ・ジョー」クラブ調査依頼について	2018-03-02
2018-02-15 cab1718068	2025年大阪万博博覧会賛助に向けた応募者名 のお願い	2018-03-31
2018-02-15 act1718067	ライオンズクラブが日本(SON)第7回夏期海外特別 - 奨助奨励金に対する寄付のお願い	2018-03-23
2018-02-15 act1718066	「東京2020オリンピック」出場を目指している次世代 選手への支援事業」に関する選手推薦について	2018-03-31
2018-02-08 act1718065	2018～2019年案 ライオンズ手帳について	2018-03-16

編・集・後・記「奉仕の精神で」

地区マーケティング・コミュニケーション委員 池田 博子

私は2012年に岸和田コスモスLCに入会しました。「クラブメンバーが減少したので、入会してほしい」との依頼があり、「この年齢になって？」と、とまどいましたが承諾しました。

以前、友人からお寺のボランティアで雑布を縫いに行くのを誘われたことを思い出し「そうだ、やっぱり何かお役に立つことがあれば!!」と決心し、このクラブに入会しました。

私のクラブは女性ばかりの少人数で頑張っています。薬物乱用防止教室では、市より「小学校へ赴き、演技で生徒たちに教えてほしい」との依頼が年に5・6校あり、参加しています。

とにかく人数が少ないのでメンバーは劇中の役がどんな役でも出来るよう頑張っておっています。私は演技は出来ませんが写真を撮ったり、劇の進行の日めくり役など、雑用のお手伝いをしています。

また、献血運動では赤十字血液センターのお手伝いをしています。駅前などで献血の呼び込みをしたり、献血が終わられた方にクラブよりお礼の粗品を作り渡しております。

私たちのクラブの例会は月2回で第2・第4の木曜日午後2時より午後3時30分まで、また理事会は毎月第2木曜日の午後3時30分より開催しています。月2回の例会は出来る限り出席し、若いメンバーより元気を頂き、私なりに少しでも世の中のために奉仕の精神でお努めができたらと望んでいます。

現在、私は地区マーケティング・コミュニケーション委員のお役を頂き、残り数カ月ですが、精いっぱい頑張ります。

●キャビネット通達

キャビネットからのご案内はこちらをご覧ください。

●各種資料ダウンロード

必要な資料をダウンロードできます。

発行者：地区ガバナー 柿原 勝彦

発行：ライオンズクラブ国際協会

335-B地区マーケティング・コミュニケーション委員会

編集者：委員長／児玉 和久

委員／徳村 初美・風間 正信・田中 秀明

廣瀬 弘二・吉永 さとみ・伊集院 峰子

杉本 光傑・池田 博子・片桐 章浩

櫻田 総一郎・金子 直樹・西森 葆彦

事務局：〒541-0048 大阪市中央区瓦町4-4-8

瓦町4丁目ビル2F

TEL:06-6222-7331 FAX:06-6222-7336

ホームページ <http://www.lc335b.gr.jp/>